

# 逗子のチャンス。

第3弾

# 女性の活躍で 逗子力 アップを!

討議資料

企業経営者として長年培ってきた  
ビジネスの経験とノウハウを今こそ逗子で、  
私の手腕を活かしたい。

## 桐ヶ谷さとる



### 桐ヶ谷さとるプロフィール

#### 【経歴】

昭和24年3月24日生  
立教大学経済学部卒業  
株式会社 キリガヤ 代表取締役  
前逗子市観光協会会長

#### 前逗子市商工会会長

みんなでがんばろう 逗子PROJECT 会長  
(東日本大震災の復興支援活動)

前みんなでつくる逗子海岸花火大会 実行委員長  
前生ごみ減量プロジェクト「キエーロ」推進責任者

#### 【家族】

妻、長男、次男、孫4人

### 【新しい財源と企業誘致】桐ヶ谷のチャンスな提言

#### <チャンス1>

#### 市政にビジネスセンスを!

実業家として長年培ってきた  
ビジネスの経験とノウハウを  
市政に活かせば、  
より生産性の高い財政へ転換できる。

#### <チャンス2>

#### 企業と起業で新しい財源を!

ITデジタル化時代、働き方改革の時代の  
追い風に乗って、企業誘致と起業促進を。  
ビジネスに「逗子ブランド」を掲げ、  
トレンドと、新たな財源につなげる。

#### <チャンス3>

#### 女性から「逗子力」アップ!

働きたい女性にとって、  
働く場の選択肢を取り揃えることで、  
家計と生きがいを充実させる  
「逗子力」アップにつなげる。

### 【桐ヶ谷さとる活動実績】

#### 自然の力で生ごみ処理

#### キエーロ



被災地・陸前高田  
の森林材を利用し  
た生ごみ減量プロ  
ジェクト「キエー  
ロ」を推進。逗子の  
生ごみ削減に貢献

#### みんなで作る逗子海岸花火大会



市の補助金カットの  
中、何としても逗子の  
元気をなくしてはなら  
ないと奮闘。大勢のみ  
なさまの支援をいただ  
いて実施にこぎつけた

#### 逗子海岸スプラッシュウォーターパーク



ファミリービーチ  
の実現のため親子  
で楽しめる施設と  
して設置へ。  
2015年16年の開  
催に奔走した

■発行：「逗子のチャンス」 桐ヶ谷さとる後援会 ■住所：〒249-0006 逗子市逗子5-3-36  
■TEL：046-870-1400 ■FAX：046-872-1117 ■E-mail：info@kirigayasatoru.net

桐ヶ谷さとる公式ホームページ  
<https://kirigayasatoru.net>



# 女子力こそ「逗子力」! 今こそ女性の活力を活かす 絶好のチャンス



<桐ヶ谷の視点>

## 生産人口の減少は逗子の活力低下の最大課題

### ●生産人口の減少は**目前**

私たちのまち逗子にも人口減少の波は容赦なく押し寄せています。国の試算によると逗子市の人口は2年後の2020年には5万5,734人となり、2030年には5万1,349人になると言われております。さらに、逗子市の生産年齢人口に関しては2025年には3万人を切ると言われています。

### ●逗子の魅力低下がまねく**さらなる人口減少**

私たちのまち逗子にとって、人口減少は単に税収減少による行政サービスの低下をまねくだけにとどまりません。逗子では他の地域に比べて、個人が経営する店舗や中小企業が頑張っておられますが、これ以上の人口減少が続けばその事業を続けていくことが困難になります。そうなれば逗子の魅力は次第に薄れ、自治体間の競争が今後一層激しくなるなか、住まいを他へ移す住民が現れ、人口減少にますます拍車がかかるでしょう。

## 企業誘致や起業促進による雇用を創出し、女性の活躍の場を

### ●まずは逗子に**ふさわしい企業誘致と、地元で起業する環境が必要**

生産人口の減少を防ぐために、まずは企業誘致プロジェクトチームを立ち上げ、トップセールスによる企業誘致を行うことによって、逗子の元気な女性たちの雇用の促進を応援することを考えています。同時に逗子で起業したい人たちを幅広く応援するため、公共のシェアオフィスなど互いの情報共有を行うコミュニティ環境を整えることも必要だと考えています。

例えば、市民交流センターや逗子アリーナ、小坪と沼間のコミュニティセンター内のあまり利用されていないスペースに創業間もない起業家が利用できる場を設けるなど、逗子市内での起業、特に女性による起業を行政が積極的にサポートすることなども考えています。

### ●**女性が活躍できる環境を整える**

いま国を挙げて女性の活躍の場を広げて行こうという大きな動きがあります。女性も男性も育児や介護をしながらでも各々の才能や能力に応じて昇進・キャリアアップができるという当たり前の仕組み、それは民間はもちろん地方自治体にも必要ではないでしょうか?例えば、逗子市役所の男女比を見ても、管理職の比率は課長職クラスで41対9、部長職クラスで9対0、次長・参事クラスで12対1となっています。市民目線のサービスを目指すには、男性だけでなく女性の視点と発想とやる気とアイデアのある人が役職に就き、その活動を実現する組織に変わる必要があります。

更に、例えば市役所内のスペースに逗子で働く人たちがいつでも気軽に利用できる公共のシェアオフィスを設け、その利用者で役所内の人材バンク(チラシ作成、会議に参加して意見を述べる、イベントの手伝いなど)の登録をお願いしたり、登録人材と誘致企業との求人のマッチングなども考えています。

### ●女性の活力を生かすには**子育てしやすい環境づくりが鍵**

逗子市内の待機児童数は平成30年4月1日時点で8名となっておりますが、厚生労働省の定める待機児童の定義を満たさない子どもはここではカウントされないため、入園を希望していても入園できない(しない)子どもが大勢いるのが実態です。

ミニ集会でも見えてきたのですが、市内の学童保育に関しては保育園よりもさらに厳しい状況にあります。こうした状況は女性の就労や職場での昇進やキャリアアップ、起業など、さまざまな活躍を阻む一因となっています。従って保育園や学童保育の環境整備はこれから働こうという女性の活力を生かすためには是非とも必要な施策だと考えています。例えば保育園事業者への病児保育、日曜祝日保育の補助制度、誘致企業や既存企業法人を対象とした公共保育施設の整備など。

また女子力を更にアップさせるためには、育児を積極的にするイクメンや、シニア世代が地域で育児を手伝う「男子力」の協力が是非とも必要です。皆様の声をお聞きして一つ一つアイデアを実現したいと考えています。

**女性の活力を生かす環境をしっかりと整備することは、  
若い人々の移住を促進し、逗子力をアップさせる  
大変に重要な事業だと考えています。**

**桐ヶ谷さとりは2年で答えを出します。**